

聴覚障がいのある幼児への支援について

聴覚障がいのある幼児への支援の現状

- 聴覚障がいにおいては、早期からの総合的な発達支援が、その後の言語獲得やコミュニケーション能力に大きく関わるため、聴覚障がい教育では幼児期の指導を充実させている。
- 聴覚障がいの療育機関である岐阜市福祉型児童発達支援センターみやこ園、幼児期の教育にあたる岐阜聾学校は、いずれも岐阜市にある。そのため、飛騨地域の聴覚障がいのある幼児は、早期から専門的な療育や教育を受けることが難しい。
- 専門的な療育や教育を求め、遠方の岐阜市や富山県の療育機関に通っている。
(飛騨地域の保護者ニーズ)
- 岐阜聾学校幼稚部には関心があるが、家族で生活の拠点を移したり、幼児期に親元を離れて生活をさせたりすることは難しい。
- 地域の園で学びながら、同時に聴覚障がいに関わる専門的な支援を受けたい。

難聴児支援の体制づくりの在り方

1 難聴児支援の基本的な在り方

- 難聴児が住み慣れた地域でできるだけ不自由なく暮らしていけるよう、途切れなく支援できる体制を築く。
- 難聴（疑いを含む）判明後の保護者に寄り添った相談対応を行うことで、保護者の不安を和らげ、早期支援につなげていく。

2 難聴児支援の体制づくりの在り方

- 難聴児支援にかかるセンター的機能を果たす組織体を県内に構築し、保健・医療・福祉・教育の各分野の連携の下、新生児から学齢期まで一貫した支援ができる体制を整備する。
- 専門療育機関から離れた地域に住んでいても、一定程度の療育ができるようにする。

具体的な取組み（一部抜粋）

- 岐阜県難聴児支援センターの設置（R3.11～） …別紙1
(体制)
センター長（医師）1名、副センター長1名、特別アドバイザー（医師）1名、支援員（言語聴覚士・岐阜聾学校教諭OG）2名、事務員1名
- 聴覚障害児童生徒支援（R1～）
 - ・教職員を対象とした研修会
 - ・保護者を対象とした相談会
 - ・飛騨地域における聴覚障がい教育支援機能の強化
- 聴覚障がい児早期支援（R3～） …別紙2
 - ・幼児教室の実施
 - ・聴覚障がい児支援専門教員による地域支援
 - ・保護者向け相談会の実施